

## 別所遺跡 第25地点

遺跡名	別所遺跡
よみがな	べっしょいせき
調査地点	第25地点
主な時代	弥生時代後期末～古墳時代初頭
調査地	富士見市大字水子字別所 6328-2、6329-1、6329-2 の各一部
調査面積	244.39 m <sup>2</sup>
調査期間	平成29年8月17日～8月18日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 弥生時代後期末～古墳時代初頭の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 弥生時代後期末～古墳時代初頭の土器</p> <p>【概要】</p> <p>別所遺跡は市域南部の水子地区の端部に位置し、南西側に柳瀬川を臨む台地の崖線部に立地しています。また、隣接する台地に刻まれた谷の反対側は針ヶ谷地区になり、遺跡のほぼ中央を東武東上線が横断しています。</p> <p>これまでの調査で、特に縄文時代の住居跡5軒、弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居跡18軒、平安時代の住居跡8軒が検出されています。</p> <p>今回の調査で確認された弥生時代後期末～古墳時代初頭の竪穴住居跡は、後世の攪乱により一部壊れていましたが、貯蔵穴・柱穴の一部が確認されています。炉は壊されて確認できませんでしたが、住居跡は中央部周辺の床面が赤く焼け、炭化材の小片が一面に広がっていたことから焼失した住居跡だと思われます。</p>



竪穴住居跡の遺物出土状況



竪穴住居跡の完掘写真